

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和 5年 6月11日

作成者： 森 信行

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名 ゆめくらぶ	
夢くらぶ	
事業名	日時(期間)、場所
第23,24,25回[美しい日本の歌を歌う会]	2022年5/14, 9/29 2023年2/3 市民センター多目的室
内容(実績) *実施したことを具体的に	受益者数
中高齢者の市民対象に、かつて歌い親しんだ童謡や懐かしいメロディを共に歌う会を毎年2~3回実施してきたが今年度はコロナ禍で1回しか実施できなかった。(添付チラシ参照)	(80)人
	参加者数
コロナ予防対策としてマスク着用、換気、消毒、検温記録の提示などを十分に行ったうえで、夢くらぶ作成の歌集でリクエストを募りみんなで大きな声を出してひと時を楽しんだ。 マスク越しではあったが、参加された市民の皆さんは日ごろの鬱々した気分転換ができたようで楽しく過ごされていた。	(80)人
成果(社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
参加者が歌を芦屋気楽苑、エルホームへは入居者の憩いの場としての「歌う会」のボランティアを行ってきたが3月以降のコロナ封鎖のため実施出来ず。解除を待っています。歌うことで明るい気持ちになり、コロナで閉じこもりがちな日常からのひと時の解放感を得られて、フレイル予防にもつながったのではないかと推察します。 各福祉施設の訪問が早くできるようになることを期待しています。	

今後の展望（どのように継続、発展するか）

団員の高齢化による減少に歯止めをかけるように、団員募集に注力し
コロナ終息後は福祉施設への奉仕活動を再開したい。